

留寿都高校だより

令和4年8・9月 合併号
(令和4年9月30日発行)
TEL(0136)46-3376
FAX(0136)46-3386

前期を振り返って

北海道留寿都高等学校長 齋藤 譲一

新型コロナウイルス第7波もピークをすぎ、感染者数も落ち着きを見せ始めてきました。感染者の待機期間短縮、全数把握の見直し、新型ワクチン接種など、新型コロナウイルスを取り巻く状況は刻一刻と変化していますが、そのような中でも生徒達は感染予防対策をとりながら遅く学校生活を送っています。前期を振り返ると、宿泊研修、学校祭、苗販売会、校外実習など様々な行事を3年ぶりに計画通りに実施することができました。生徒達が日頃の学習や練習の成果を発揮したり、仲間との絆を深める機会が増えたことはとても良かったと思います。以前のようにマスクを完全に外すまでは、まだ時間がかかりそうですが、予防対策をとりながら、これからも積極的に物事に取り組んで欲しいと思います。

10月から後期が始まります。進路実現の仕上げに入る3・4年生、見学旅行が控える2年生、コース選択など学習するための基礎固めを行う1年生。各学年とも、それぞれがやるべきことをしっかりとやる半年になることを期待します。

保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、令和4年度の後半に向け、引き続き留寿都高校の教育活動に対し、より一層のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

介護技術コンテスト

8月19日(金)北海道医療大学を会場として行われた介護技術コンテストに、4年生が出場しました。この大会は、道内の福祉を学ぶ高校生が、与えられた課題に対して介護の内容を考え、技術を競うものです。今年度は5校が出場し、本校は優秀賞(2位)という素晴らしい結果を残しました。



中学生1日体験入学

8月20日(土)に今年度1回目の中学生1日体験入学を行い、後志地区や石狩地区から多くの中学生が来校しました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの実施となりましたが、3年ぶりに本校生徒と中学生が交流しながらの体験授業を行うことができました。



生活体験発表大会

9月13日(火)にニセコ高校で第66回後志地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が行われました。

本校からは、1年生の富澤優吹さんが出場しました。富澤さんは、「チェンジ」と題して堂々と発表し、見事3位入賞を果たしました。



PTA地区別懇談会のお知らせ

今年度も、本校の教育活動をご理解いただくとともに、お子様の日頃の様子について担任との懇談の機会として、以下の日程で地区別懇談会を実施いたします。ぜひ、多くの保護者の皆様にご出席いただけますよう、よろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら、教頭(小川)までお問い合わせください。

日時 札幌地区 令和4年10月21日(金) 時程 18:30~19:00 開会・全体懇談会
留寿都地区 令和4年10月24日(月) 19:00~20:30 学級懇談会・個人懇談会

場所 札幌地区 札幌市南区民センター(札幌市南区真駒内幸町2丁目2-1)
留寿都地区 北海道留寿都高等学校 視聴覚室

第2回中学生一日体験入学のお知らせ

10月28日(金)に第2回中学生一日体験入学を予定しています。中学生や保護者の皆様、および中学校の先生方に本校の教育内容や特色等について理解を深めていただきたく、多くの方々の参加をお待ちしております。なお、お申し込みは、中学校の先生を通してお願いいたします。

10月の主な予定

3日(月)	冬季休業分振替休日(生徒)	21日(金)	PTA地区別懇談会(札幌)
4日(火)	衣替え 登下校指導(~7日)	24日(月)	PTA地区別懇談会(留寿都)
6日(木)	情報処理検定(表計算)	26日(水) ~27日(木)	第73回日本学校農業クラブ全国大会(福井県・石川県・富山県)
8日(土)	食彩フェア(イトーヨーカドー琴似店)	28日(金)	第2回中学生一日体験入学
11日(火)	情報処理検定(ワープロ)		

JGAP 認証取得へ

JGAP 認証を目指し、令和4年9月15日(木)に初めての審査が実施されました。2・3年生国際農業コースでジャガイモの収穫、選別、箱詰めの際の現地審査。また、農場の環境整備や必要な掲示等を審査。ここまでの2時間です。さらに4時間かけて、2年生国際農業コースが書類審査に対応。審査項目は全部で約120あり、そのすべてをひとつひとつ確認していきます。分厚い自作資料を基に生徒が中心になって答えていきます。はじめは返答に困る場面が多かったですが、少しずつ積極的に発言できるような成長を遂げることができました。この日には7点の是正点の指摘がありました。これを4週間以内に修正し、その結果を審査機関に報告し、適合されればJGAPの認証が得られることとなります。

GAP導入の効果として、これまで曖昧だった農場でのルール等を再確認できたので、より安全な農場づくりにつなげて行きたいです。また、これらの農場環境を維持していくために、一般の方の本校農場への立ち入りを制限することもあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

コロンビアの高校生達との国際交流

9月22日(木)に1年生の英語の授業でコロンビアの高校生達とのオンライン授業を実施しました。今回は3カ国語(英語、スペイン語、日本語)を使いながら、北海道や留寿都についてプレゼンをし、コロンビアの文化や歴史を教してもらいました。生徒達は緊張しながらも、初めての国際交流を前向きに行うことができました。

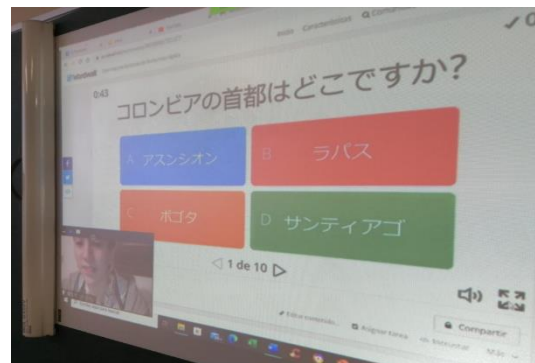
今回の交流は、コロンビア在住でメデジン日本文化センター「春のひなた」日本語講師の羽田野香里さん(小樽出身)の協力で実施できました。留寿都高校は今後も授業等で国際交流を色々な形で続けていきます。



北海道や留寿都のプレゼン



コロンビアの文化についてのプレゼン



コロンビアに関するクイズ

2年生実習

9月5日(月)から10日間、2年生が外部実習を行いました。国際農業コースの生徒は、全員で1週目は近隣の農家さんの下で実習をして、2週目は校内で実習を行いました。農業福祉コースの生徒は、それぞれ福祉施設や校内で実習を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの実習となりましたが、生徒の感想からも、貴重な経験となったことが伺えます。



国際農業コース

2年 村上 華菜

私は、今回藤本農園さんで行った実習と学校で行った実習を通して沢山のことを学びました。その中でも、藤本農園さんで行った実習では、ニンジン畑やダイコン畑の草取り、ダイコンの収穫のお手伝いと収穫用の機械に乗せてもらっての作業のお手伝い、収穫し終わったユリのハウスの寒冷沙運びなど4日間の中で様々なことをさせてもらいました。

学校の畑とは比べ物にもならないほど一つの畑が広く、学校でやる実習よりも何倍も疲れましたが、農家さんたちが実習中とても優しくしてくれたので楽しく実習をすることができました。

2年 立石 航大

僕は今回、藤本農園さんで行った実習でユリのハウス、ニンジン畑、ダイコン畑で草とり、ダイコン抜き、寒冷沙の片づけ、ユリの選別をしました。その中でも僕はダイコン抜きの作業が一番印象に残っています。ダイコン抜きでは、ダイコン用の機械に乗って、ダイコンをかごにできるだけたくさん入るように入れることと、機械を追いかけながら包丁でダイコンの上の部分の部分を切って、上の人に渡す作業をしました。とても良い経験になりました。

農業福祉コース

2年 遠藤 萌愛

私は、今回校内で実習を行いながら、9月16日(金)に公民館で行われた敬老会に参加しました。人がたくさん来ていて緊張しましたが、多くの方が話し掛けてくださり、とても良い雰囲気でもとても楽しかったです。ビンゴの企画が盛り上がり良かったなと思いました。ビンゴのときに景品を渡しに行きましたが、景品が当たってとても喜んでる姿が印象に残っています。また、日本舞踊をされていた方と色々な話ができて嬉しかったです。



事務より

毎月26日が授業料・諸納金の口座引き落とし日です。余裕を持って23日までには郵便局指定口座の残金等を確認し、入金していただきますようお願いいたします。

不明な点は事務部までご連絡ください。

(電話 0136-46-3376)
担当: 高橋

